

平成24年行政事業レビューシート

(外務省)

事業名	安全保障政策全般に係る外交政策立案	担当部局庁	総合外交政策局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	別紙参照	担当課室	安全保障政策課 海上安全保障政策室	課長 伊澤 修 室長 瀬尾 正嗣			
会計区分	一般会計	施策名	Ⅱ－１ 国際の平和と安定に対する取組				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	別紙参照	関係する計画、通知等	別紙参照				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	アジア太平洋地域の平和と安定を確保していくためには、同地域における米国の存在と関与を前提とした上で、二国間及び多国間の対話や民間レベル(トラック2)の枠組みを重層的に用いて同地域の安全保障環境に影響を及ぼす各国との信頼醸成を促進し、安全保障環境を向上させていく。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	上記の目的を達成するため、ARFや北東アジア協力対話といったフォーラムへの積極的な参加及び活動支援を行うとともに、外務省職員に対する安全保障研修等を通じた専門家との相互理解の促進により、我が国の安全保障の確保に取り組む。						
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	32	34	35	26	22
		補正予算	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	
		計	32	34	35	26	22
	執行額		28	38	30		
	執行率(%)		83.6	109.3	91.8		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	ARFや北東アジア協力対話といったフォーラムの活性化、地域内の信頼醸成及び安全保障環境の向上		成果実績	各種会合において地域の安全保障について有意義な意見交換を行った。ARFについては2020年のARFの目指すべき姿を取りまとめたARFビジョンステートメントの採択	各種会合において地域の安全保障について有意義な意見交換を行った。ARFについてはARFビジョンステートメントを具体化するための行動計画を採択	各種会合において地域の安全保障について有意義な意見交換を行った。ARFについては予防外交ワークプランを採択	各種会合において地域の安全保障について有意義な意見交換を行う。ARFについては軍縮・不拡散ワークプランの採択を目指す。
			達成度	%	100	100	100
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	各種会合への外務省等からの出席者の確保		活動実績 (当初見込み)	回	12	14 (12)	11 (14)
単位当たりコスト	2,354(千円/回)		算出根拠	単位当たりのコスト＝事業費用(25,891千円)／各種会合出席回数(11)			
平成24・25年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	米国安全保障政策研究に必要な経費	12	10	米国安全保障政策研究に必要な経費、及び安全保障政策に関する事務運営費について、出張回数の見直しによる減。			
	アセアン地域フォーラム会合経費	5	5				
	安全保障政策に関する事務運営費	4	3				
	ARF活動強化関係経費	3	2				
	北東アジア協力対話開催経費	2	2				
	海賊対策に関するワークショップ開催経費	-	-				
	計	26	22				

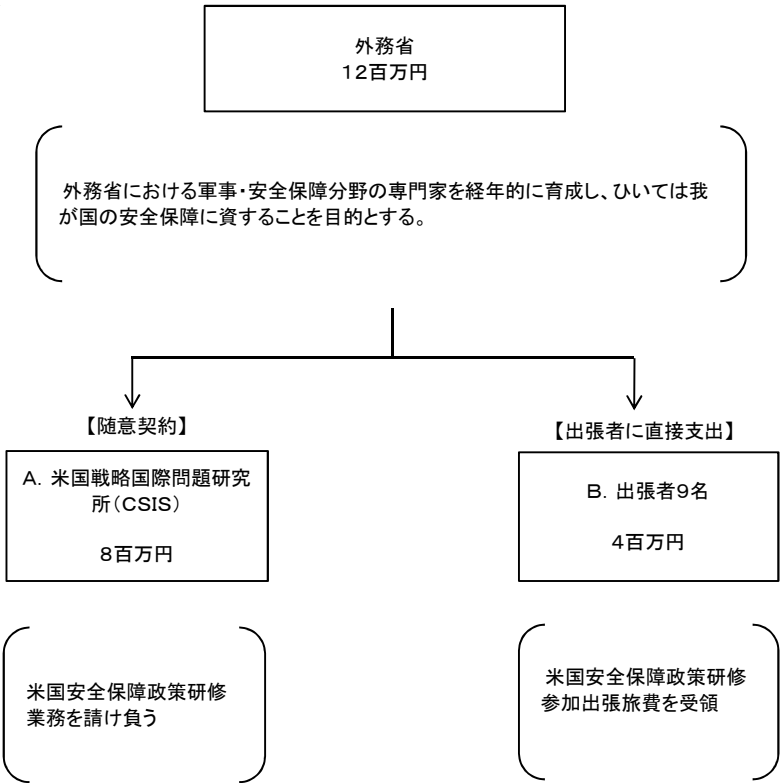
事業所管部局による点検				
	評価	項目		評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。		我が国の安全保障の確保は、すべての国民がその便益を享受するものであり、また、国が実施すべき事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。		
	－	不利用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。		
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。		業務委託の支出先の選定にあたっては、一般競争に付することを始め、事業実施能力を精査した上で選定を行っており、委託内容については、事業目的に即し必要なものに限定し、実施状況の確認を行っている。支出においては、領収書等の各種証拠書の提出を求め、入念にチェックを行った上で、支出を行っている。 また、旅費の支給にあたっては、出張日程を基に経済的な交通手段の選定を行い、国家公務員等の旅費に関する法律に基づき、各種証拠書類及び領収書を精査し、支給を行っている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。		
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。		我が国の安全保障の確保は、我が国が主体的に各種フォーラムへの参加し、安全保障専門家との相互理解を促進することを通じて実効的に実現されるものであり、また成果は着実に達成されている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。		
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。		
		※類似事業名とその所管部局・府省名		
○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			
点検結果	アジア太平洋地域の平和と安定を確保していくために、同地域における米国の存在と関与を前提とした上で、二国間及び多国間の対話や民間レベルの枠組みを重層的に用いて同地域の安全保障環境に影響を及ぼす各国との信頼醸成を促進し、安全保障環境を向上させていくため、ARFや北東アジア協力対話といったフォーラムへの積極的な参加及び活動支援を行うとともに、外務省職員に対する安全保障研修を通じた専門家の相互理解の促進により、我が国の安全保障の確保に取り組む必要があるところ、引き続き事業の継続が必要と考える。			
	予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善	事業見直しによる減 単価見直しによる減			
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	米国安全保障政策研究に必要な経費、及び安全保障政策に関する事務運営費について、出張回数の見直しによる減。			
	補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成22年行政事業レビュー	270,290,292,296,313		平成23年行政事業レビュー	256,267,282,283,285,新23-28

(別紙)

個別事業名	米国安全保障政策研究に必要な経費			担当部局庁	総合外交政策局	作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度			担当課室	安全保障政策課	課長 伊澤 修	
会計区分	一般会計			施策名	Ⅱ－1 国際の平和と安定に対する取組		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第四条第一項第一号イ			関係する計画、通知等	－		
実施方法	■直接実施 ■委託・請負 □補助 □負担 □交付 □貸付 □その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
	予算 の 状 況	当初予算	16	14	13	12	10
		補正予算	－	－	－	－	
		繰越し等	－	－	－	－	
		計	16	14	13	12	10
	執行額		14	12	12		
	執行率 (%)		83.3	85.0	96.6		
平成24・25年度予算内訳 (単位:百万円)	費 目		24年度当初予算	25年度要求			
	安全保障研修運営委嘱費		8	8			
	職員旅費		4	2			
計		12	10				

個別事業名： 米国安全保障政策研究に必要な経費

※平成23年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位: 百万円)

個別事業名： 米国安全保障政策研究に必要な経費

費目・使途
（「資金の流れ」
においてブロックごとに最大の
金額が支出されている者につい
て記載する。費
目と使途の双方
で実情が分かる
ように記載）

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
委託	米国安全保障政策研修業務	8			
計		8	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

個別事業名： 米国安全保障政策研究に必要な経費

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	米国戦略国際問題研究所 (CSIS)	米国安全保障政策研修業務を請け負う	8	随意契約	—

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者A	米国安全保障政策研修参加出張旅費を受領	0.5	—	—
2	出張者B	米国安全保障政策研修参加出張旅費を受領	0.5	—	—
3	出張者C	米国安全保障政策研修参加出張旅費を受領	0.5	—	—
4	出張者D	米国安全保障政策研修参加出張旅費を受領	0.5	—	—
5	出張者E	米国安全保障政策研修参加出張旅費を受領	0.5	—	—
6	出張者F	米国安全保障政策研修参加出張旅費を受領	0.5	—	—
7	出張者G	米国安全保障政策研修参加出張旅費を受領	0.5	—	—
8	出張者H	米国安全保障政策研修参加出張旅費を受領	0.4	—	—
9	出張者I	米国安全保障政策研修参加出張旅費を受領	0.4	—	—

(別紙)

個別事業名	アセアン地域フォーラム会合経費		担当部局庁	総合外交政策局		作成責任者	
事業開始・終了(予定) 年度			担当課室	安全保障政策課		課長 伊澤 修	
会計区分	一般会計		施策名	Ⅱ－１ 国際の平和と安定に対する取組			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第四条第一項第一号イ		関係する計画、通知等	－			
実施方法	■直接実施 □委託・請負 □補助 □負担 □交付 □貸付 □その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
	予算 の 状 況	当初予算	5	4	5	5	5
		補正予算	－	－	－	－	
		繰越し等	－	－	－	－	
		計	5	4	5	5	5
	執行額		5	5	4		
執行率 (%)		99.4	107.4	87.5			
平成 24・25 年度 予算 内訳 (単位:百万円)	費 目		24年度当初予算	25年度要求			
	職員旅費		4	4			
	文化人等派遣旅費		1	1			
計		5	5				

個別事業名： アセアン地域フォーラム会合経費

※平成23年度実績を記入

外務省
4百万円

アセアン地域フォーラム(ARF)は、地域の平和と安定のため重要な会議である。我が国としてはARF推進のために主導的役割を果たしていくことが必要であり、関係会合に関連する各種会合に参加する。ARFがその活動に専門的見地から助言・勧告を受けることを目的に導入されたARF・EEP(専門家／賢人)会合に我が国有識者を派遣する。

【出張者に直接支出】

A. 出張者8名
4百万円

海外で開催されるARF
関係会合出張旅費を受
領

【有識者に直接支出】

B. 有識者A
0. 3百万円

海外で開催されるARF
関係会合出張旅費を受
領

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単位:
百万円)

個別事業名： アセアン地域フォーラム会合経費

費目・使途
（「資金の流れ」
においてブロックごとに最大の
金額が支出されている者につい
て記載する。費
目と使途の双方
で実情が分かる
ように記載）

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	海外で開催されるARF関係会合出張旅費	1			
計		1	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

個別事業名： アセアン地域フォーラム会合経費

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者A	海外で開催されるARF関係会合出張旅費を受領	1	—	—
2	出張者B	海外で開催されるARF関係会合出張旅費を受領	0.7	—	—
3	出張者C	海外で開催されるARF関係会合出張旅費を受領	0.5	—	—
4	出張者D	海外で開催されるARF関係会合出張旅費を受領	0.4	—	—
5	出張者E	海外で開催されるARF関係会合出張旅費を受領	0.3	—	—
6	出張者F	海外で開催されるARF関係会合出張旅費を受領	0.3	—	—
7	出張者G	海外で開催されるARF関係会合出張旅費を受領	0.3	—	—
8	出張者H	海外で開催されるARF関係会合出張旅費を受領	0.2	—	—

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	有識者A	海外で開催されるARF関係会合出張旅費を受領	0.3	—	—

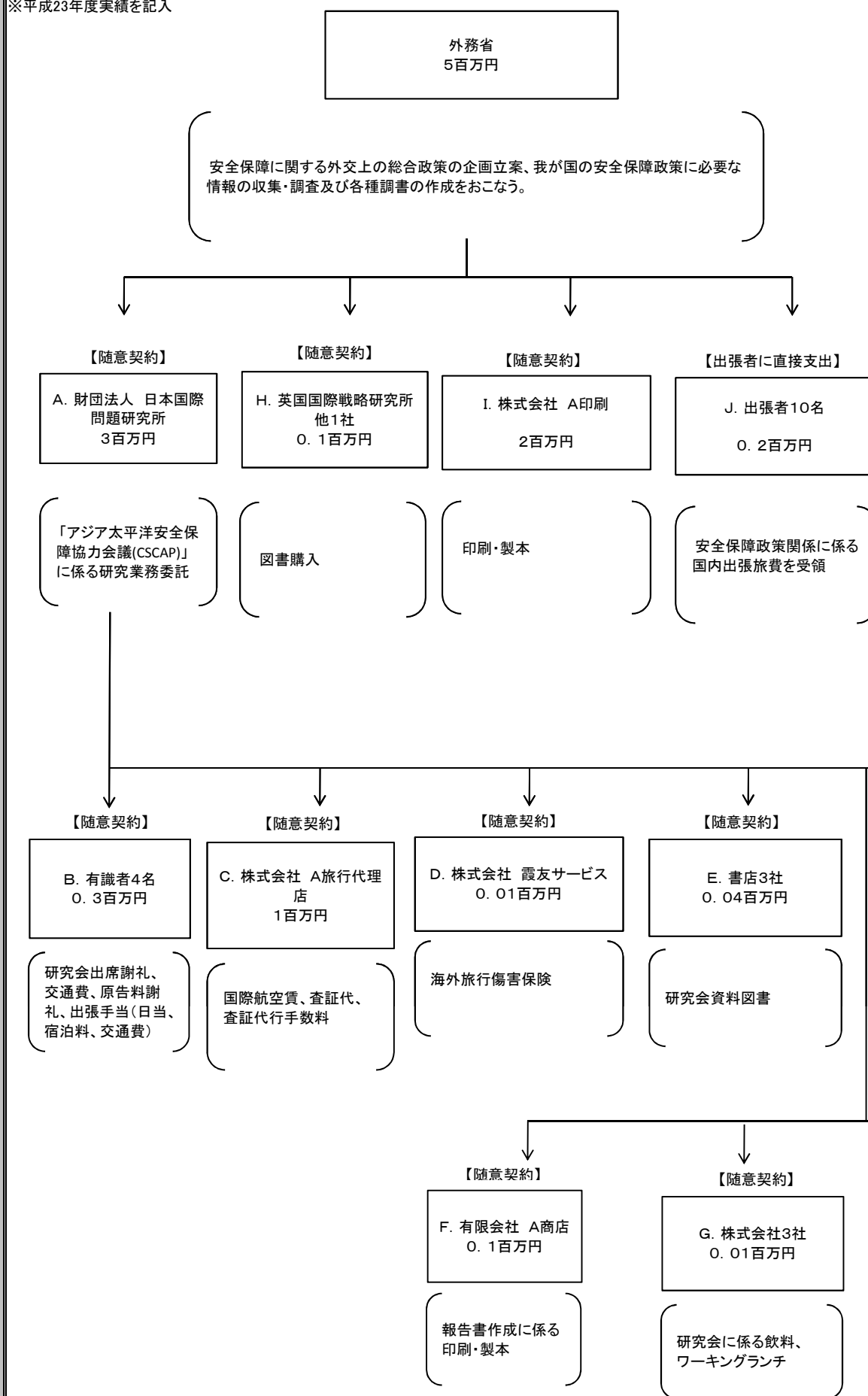
(別紙)

個別事業名	安全保障政策に関する事務運営費		担当部局庁	総合外交政策局		作成責任者	
事業開始・終了(予定) 年度			担当課室	安全保障政策課		課長 伊澤 修	
会計区分	一般会計		施策名	Ⅱ－１ 国際の平和と安定に対する取組			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第四条第一項第一号イ		関係する計画、通知等	－			
実施方法	■直接実施 ■委託・請負 □補助 □負担 □交付 □貸付 □その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
	予算 の 状 況	当初予算	4	4	6	4	3
		補正予算	－	－	－	－	
		繰越し等	－	－	－	－	
		計	4	4	6	4	3
	執行額		4	3	5		
	執行率 (%)		86.6	96.0	87.2		
平成 24・25 年度 予算 内訳 (単位:百万円)	費 目		24年度当初予算	25年度要求			
	研究謝金		3	3			
	職員旅費		0.3	0.3			
	消耗品代		0.1	0.1			
	計		4	3			

個別事業名： 安全保障政策に関する事務運営費

※平成23年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単位:
百万円)



個別事業名： 安全保障政策に関する事務運営費

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者につい て記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)	A.			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費等	研究業務委託	1			
	外部委託	株式会社A旅行代理店(国際航空券手配)	1			
	計		2	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	航空賃等	国際航空券手配	1			
	計		1	計		0
	D.			I.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
				印刷製本	株式会社 A印刷	2
	計		0	計		2

個別事業名： 安全保障政策に関する事務運営費

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	財団法人 日本国際問題研究所	「アジア太平洋安全保障協力会議(CSCAP)」に係る研究業務を受託	3	随意契約	—

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	有識者A	研究会出席謝礼、交通費、原稿謝礼、出張手当(日当、交通費)	0.1	—	—
2	有識者B	研究会出席謝礼、原稿謝礼、出張手当(日当、交通費)	0.1	—	—
3	有識者C	研究会出席謝礼、出張手当(日当、宿泊料、交通費)	0.1	—	—
4	有識者D	研究会出席謝礼、原稿謝礼、出張手当(日当、交通費)	0.1	—	—

C.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社 A旅行代理店	国際航空賃、査証代、査証代行手数料	1	—	—

D.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社 霞友サービス	海外旅行傷害保険	0.01	—	—

E.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	書店A	研究会資料図書	0.03	—	—
2	書店B	研究会資料図書	0.01	—	—
3	書店C	研究会資料図書	0.00	—	—

F.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	有限会社 A商店	報告書作成に係る印刷・製本	0.1	—	—

G.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社 Aレストラン	研究会に係るワーキングランチ	0.01	—	—
2	株式会社 Bコーヒーショップ	研究会に係る飲料	0.00	—	—
3	株式会社 Cコーヒーショップ	研究会に係る飲料	0.00	—	—

H.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	英国国際戦略研究所	図書購入	0.1	—	—
2	株式会社 書店D	図書購入	0.00	—	—

I.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社 A印刷	印刷・製本	2	—	—

J.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者A	安全保障政策に係る国内出張旅費を受領	0.08	—	—
2	出張者B	安全保障政策に係る国内出張旅費を受領	0.06	—	—
3	出張者C	安全保障政策に係る国内出張旅費を受領	0.03	—	—
4	出張者D	安全保障政策に係る国内出張旅費を受領	0.02	—	—
5	出張者E	安全保障政策に係る国内出張旅費を受領	0.02	—	—
6	出張者F	安全保障政策に係る国内出張旅費を受領	0.01	—	—
7	出張者G	安全保障政策に係る国内出張旅費を受領	0.01	—	—
8	出張者H	安全保障政策に係る国内出張旅費を受領	0.01	—	—
9	出張者I	安全保障政策に係る国内出張旅費を受領	0.01	—	—
10	出張者J	安全保障政策に係る国内出張旅費を受領	0.00	—	—

(別紙)

個別事業名	A R F 活動強化関係経費		担当部局庁	総合外交政策局	作成責任者		
事業開始・終了(予定) 年度	平成 2 0 年度		担当課室	安全保障政策課	課長 伊澤 修		
会計区分	一般会計		施策名	Ⅱ－1 国際の平和と安定に対する取組			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第四条第一項第一号イ		関係する計画、通知等	－			
実施方法	■直接実施 □委託・請負 □補助 □負担 □交付 □貸付 □その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
	予算 の 状 況	当初予算	2	8	3	3	2
		補正予算	－	－	－	－	
		繰越し等	－	－	－	－	
		計	2	8	3	3	2
	執行額		2	17	2		
執行率 (%)		90.9	203.9	84.7			
平成 2 4 ・ 2 5 年度 予算内訳 (単位:百万円)	費 目	24年度当初予算	25年度要求				
	職員旅費	2	2				
	会議費	1	－				
	計	3	2				

個別事業名： ARF活動強化関係経費

※平成23年度実績を記入

外務省
2百万円

依然として不透明、不確実な要素の残るアジア太平洋地域の平和と安定を確保していくため、ARFの活動を更に積極的に支援していくことが重要であることから、ARFのASEAN諸国が開催する関連会合に我が国が共同議長として参画して、ARFの活動をさらに活性化させる。

【出張者に直接支出】

A. 出張者4名
1百万円

ARFテロ対策及び国境を越える犯罪に関する会期間会合出張旅費を受領

【随意契約】

B. ホテル(クアラルンプール)
(JW MARRIOTT KUALALUMPUR)
1百万円

ARFテロ対策及び国境を越える犯罪に関する会期間会合における、日本側主催レセプション代

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位：百万円)

個別事業名： ARF活動強化関係経費

費目・使途
（「資金の流れ」
においてブロックごとに最大の
金額が支出されている者につい
て記載する。費
目と使途の双方
で実情が分かる
ように記載）

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
会議費	日本主催レセプション経費	1			
計		1	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

個別事業名： ARF活動強化関係経費

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者A	ARFテロ対策及び国境を越える犯罪に関する会期間会合出張旅費を受領	0.5	—	—
2	出張者B	ARFテロ対策及び国境を越える犯罪に関する会期間会合出張旅費を受領	0.2	—	—
3	出張者C	ARFテロ対策及び国境を越える犯罪に関する会期間会合出張旅費を受領	0.2	—	—
4	出張者D	ARFテロ対策及び国境を越える犯罪に関する会期間会合出張旅費を受領	0.2	—	—

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ホテル(クアラルンプール)(JW MARRIOTT KUALALUMPUR)	ARFテロ対策及び国境を越える犯罪に関する会期間会合におけるレセプション	1	随意契約	—

(別紙)

個別事業名	北東アジア協力対話開催経費		担当部局庁	総合外交政策局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度			担当課室	安全保障政策課		課長 伊澤 修	
会計区分	一般会計		施策名	Ⅱ－１ 国際の平和と安定に対する取組			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第四条第一項第一号イ		関係する計画、通知等	－			
実施方法	■直接実施 □委託・請負 □補助 □負担 □交付 □貸付 □その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
	予算 の 状 況	当初予算	5	4	5	2	2
		補正予算	－	－	－	－	
		繰越し等	－	－	－	－	
		計	5	4	5	2	2
	執行額		3	0.9	2		
執行率(%)		65.1	19.6	52.2			
平成24・25年度予算内訳 (単位:百万円)	費 目		24年度当初予算	25年度要求			
	職員旅費		1	1			
	文化人等派遣旅費		1	1			
計		2	2				

個別事業名： 北東アジア協力対話開催経費

※平成23年度実績を記入

外務省
2百万円

北東アジア協力対話は、日、米、中国、韓国、ロシア、北朝鮮の各国民間レベルの関係者が参加し、北東アジア唯一の多国間安全保障対話の場であり、我が国として積極的に活動を支援することは、同地域の平和と安定維持のために重要である。

【出張者に直接支出】

A. 出張者3名
1百万円

第22回北東アジア協力対話出張旅費を受領

【有識者に直接支出】

B. 有識者2名
1百万円

第22回北東アジア協力対話出張旅費を受領

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位：百万円)

個別事業名： 北東アジア協力対話開催経費

費目・使途
（「資金の流れ」
においてブロッ
クごとに最大の
金額が支出され
ている者につい
て記載する。費
目と使途の双方
で実情が分かる
ように記載）

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

個別事業名： 北東アジア協力対話開催経費

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者A	第22回北東アジア協力対話出張旅費を受領	0.5	—	—
2	出張者B	第22回北東アジア協力対話出張旅費を受領	0.5	—	—
3	出張者C	第22回北東アジア協力対話出張旅費を受領	0.3	—	—
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	有識者A	第22回北東アジア協力対話出張旅費を受領	0.5	—	—
2	有識者B	第22回北東アジア協力対話出張旅費を受領	0.5	—	—
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

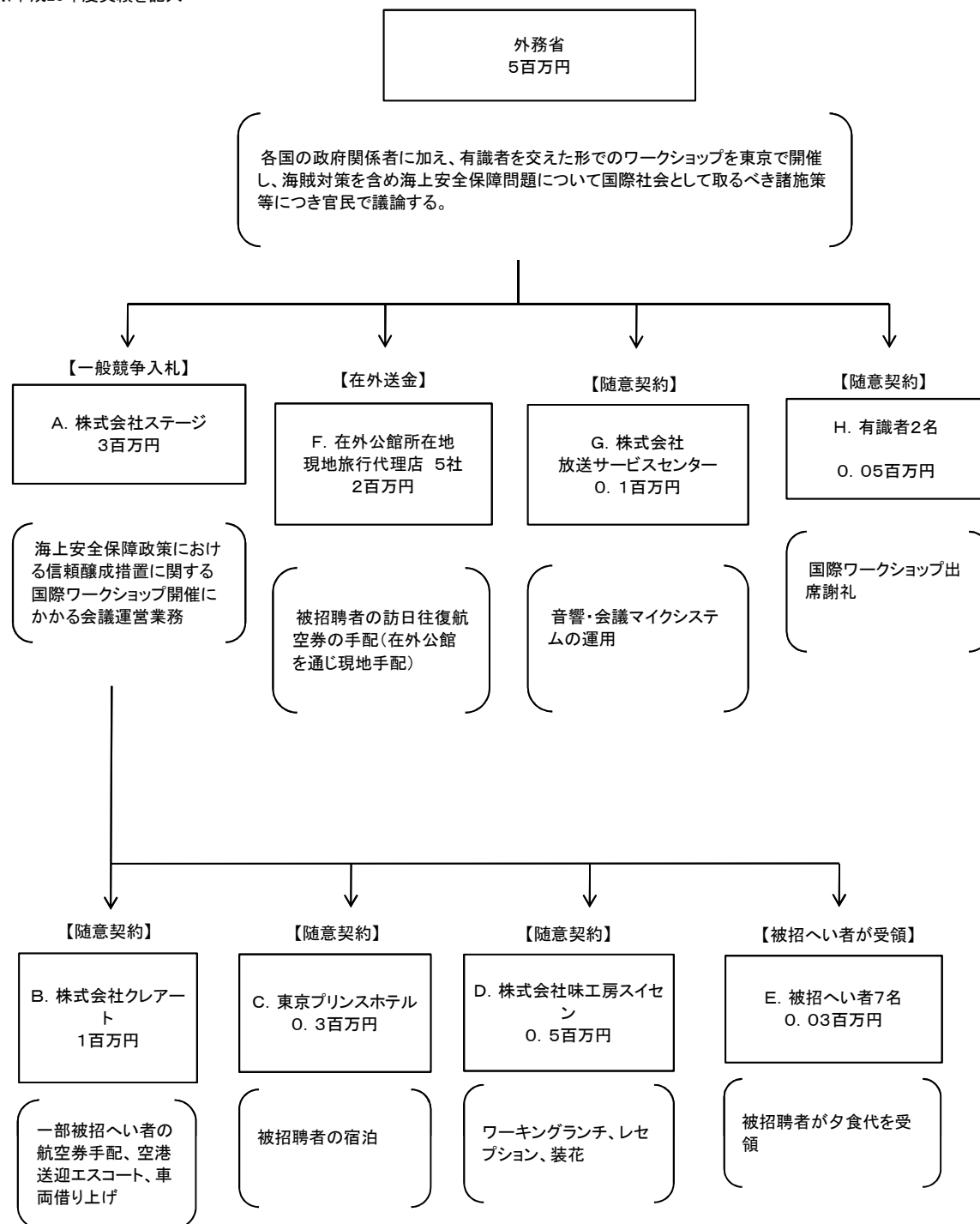
(別紙)

個別事業名	海賊対策に関するワークショップ開催経費			担当部局庁	総合外交政策局		作成責任者
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度			担当課室	海上安全保障政策室		室長 瀬尾 正嗣
会計区分	一般会計			施策名	Ⅱ－1 国際の平和と安定に対する取組		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第四条第一項イ 海賊対処法第11条第1項			関係する計画、通知等	—		
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
	予算の状況	当初予算	—	—	3	—	—
		補正予算	—	—	—	—	—
		繰越し等	—	—	—	—	—
		計	—	—	3	—	—
	執行額		—	—	5	—	—
	執行率(%)		—	—	150.8	—	—
平成24・25年度予算内訳 (単位:百万円)	費目		24年度当初予算	25年度要求			
			—	—			
			—	—			
			—	—			
	計		—	—			

個別事業名： 海賊対策に関するワークショップ開催経費

※平成23年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単位:
百万円)



個別事業名： 海賊対策に関するワークショップ開催経費

費目・使途
（「資金の流れ」
においてブロック
ごとに最大の
金額が支出され
ている者につい
て記載する。費
目と使途の双方
で実情が分かる
ように記載）

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
外部委託	株式会社クレアート(エスコート手配、車両手配等)	1			
計		1	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

個別事業名： 海賊対策に関するワークショップ開催経費

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社 ステージ	海上安全保障政策における信頼醸成措置に関する国際ワークショップ開催に係る会議運営業務を受託	3	1	99.4

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社 クレアート	一部被招へい者の航空券手配、空港送迎エスコート、車両借り上げ	1	—	—

C.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京プリンスホテル	被招へい者の宿泊代	0.3	—	—

D.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社 味工房スイセン	ワーキングランチ、レセプション、装花	0.5	—	—

E.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	被招へい者A	被招へい者が夕食代を受領	0.01	—	—
2	被招へい者B	被招へい者が夕食代を受領	0.01	—	—
3	被招へい者C	被招へい者が夕食代を受領	0.01	—	—
4	被招へい者D	被招へい者が夕食代を受領	0.00	—	—
5	被招へい者E	被招へい者が夕食代を受領	0.00	—	—
6	被招へい者F	被招へい者が夕食代を受領	0.00	—	—
7	被招へい者G	被招へい者が夕食代を受領	0.00	—	—

F.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	現地(オーストラリア)旅行代理店	被招へい者の航空券手配	0.5	—	—
2	現地(マレーシア)旅行代理店	被招へい者の航空券手配	0.5	—	—
3	現地(ベルギー)旅行代理店	被招へい者の航空券手配	0.5	—	—
4	現地(インド)旅行代理店	被招へい者の航空券手配	0.2	—	—
5	現地(ベトナム)旅行代理店	被招へい者の航空券手配	0.1	—	—

G.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社 放送サービスセンター	音響・会議マイクシステムの運用	0.1	—	—

H.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	有識者A	国際ワークショップ出席謝礼	0.02	—	—
2	有識者B	国際ワークショップ出席謝礼	0.02	—	—